

# 問いを選ぶ。尖っている理学。

私たちは“流行っているテーマをやる理学研究科”ではありません。

研究者一人ひとりが、自分の問いを選び、  
その問いで勝負している、“尖っている理学”です。

名市大大学院理学研究科では、理学情報専攻の中に数学、物理、化学、生物、天文、情報といった多様な分野が含まれ、先端的な研究が行われています。



## ピックアップ最先端研究

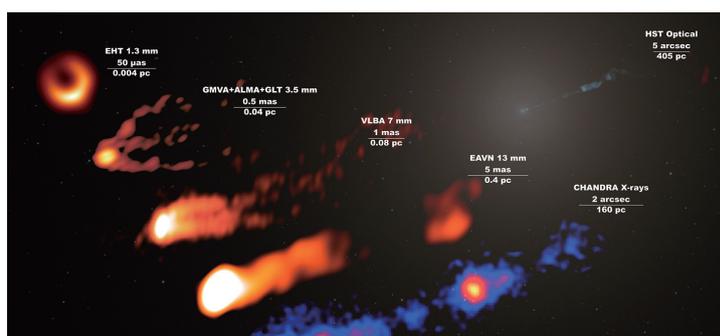
### 木村教授（神経科学）

小さな線虫を研究対象として、神経科学・光生理学・データ科学などを統合した研究で「脳の動作原理」の解明を目指しています。代表論文: Nat Meth 2019, eLife 2021, Cell Rep Meth 2025.



### 秦准教授（天文学）

世界中の研究者と協力した国際連携を通して、銀河の中心の超巨大ブラックホールなどを研究しています。代表論文: Nature 2023, A&A 2024, Astron Astrophys Rev 2024.



## 注目のプレスリリース

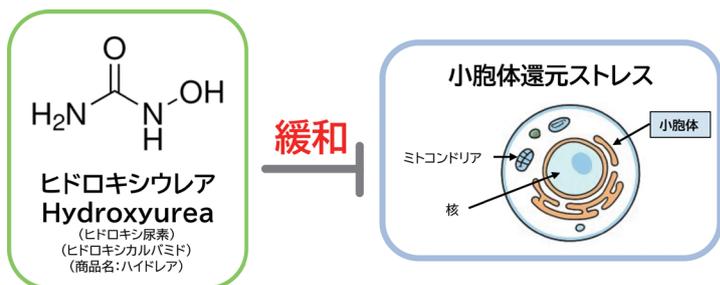
### 青柳教授（構造物性物理学）

「ナノケージに捕獲したイオンの回転と振動を精密計測～C<sub>60</sub>フラーレンに閉じ込めたりチウムイオンの運動状態を解明!～」をぜひご覧ください。



### 中務教授（細胞生物学）

「抗がん剤ヒドロキシウレアの新たな役割—小胞体の還元ストレスを緩和する作用を発見—」をぜひご覧ください。



## 大学院生支援プログラム

次世代研究者  
挑戦的プログラム  
(SPRING)



大学院支援組織  
GRADcenter



## 入試情報



滝子(山の畑)  
キャンパス



## アクセス

田辺通  
キャンパス

